

まち歩き+町工場見学+道具の写しとり

オオタノカケラ

vol.4

参加者
募集!
要申込み

色鉛筆で写す大田のタカラ、浮かび上がる町工場の記憶

南六郷と大型工場

5月8日(日)

6月19日(日)

糀谷と昔ながらの町工場

5月15日(日)

6月26日(日)

西六郷と木造工場

5月29日(日)

7月3日(日)

photo by Ryoma Tahara



2016年 5月8日 | 15日 | 29日 | 6月19日 | 26日 | 7月3日 各日曜開催 13:30 - 16:30
最寄り駅(13:30出発)→まち歩き→工場見学→道具による作品づくり(現地解散) 対象:どなたでも 小学校3年生未満は親同伴(参加費無料)

酒百宏一(美術作家)と参加者による町工場×アート協働制作

科学研究費助成事業 協賛: (Chalbein) ホルベイン工業株式会社

問い合わせ: 東京工科大学デザイン学部 オオタノカケラ事務局

URL: <http://www.sakao-lifeworks.com/otanokakera/>

e-mail: otanokakera@gmail.com <https://www.facebook.com/otanokakera>

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 tel: 03-6424-2111(代表)

科研費
KAKENHI
課題番号 26360079



町工場の記憶とともに道具の写しとりを行うワークショップです

今回は、三つの工場の現場をご案内し、およそ50年以上も営まれてきたモノづくりの空気に触れていただきます。

まず最寄りの駅に集合、その土地の記憶を辿りながら工場を目指します。工場で見学した後に職人の道具を色鉛筆で写しとるワークショップを行います。

頑なに自分の仕事にこだわり、日本の近代工業を支えたモノづくりの息遣いを感じられる貴重な機会です。ぜひ工場が失われる前に最後の工場の記憶を共有してください。



南六郷と大型工場

5月8日(日) 6月19日(日)

集合：京急雑色駅～東京精密溶断（工場にて解散）

厚さ300mmを越える鉄板を溶断加工する大田区でも唯一の工場としておよそ50年の歴史を刻んできました。現在この工場には機械は残っていませんが、その空間は、工場独自の空気に満ちています。



糞谷と昔ながらの町工場

5月15日(日) 6月26日(日)

集合：京急蒲田駅～ギャラリー南製作所（現地にて解散）

旋盤一筋に生きた職人の町工場を今回も特別に公開します。道具の写しとりは、場所を移し、町工場跡がそのままギャラリーとなった空間で行います。



西六郷と木造工場

5月29日(日) 7月3日(日)

集合：京急六郷土手駅～旧石戸製作所（工場にて解散）

戦後間もない頃、地方からの集団就職を受け入れ、多くは30人も働いていたという昭和の町工場。木造の洋風小屋組の建築も貴重なものです。大田区の町工場のルーツとも言える空気を味わってください。



時間はいずれも 13:30 - 16:30 ※集合場所では オオタノカケラののぼり旗が目印です。

駅(13:30出発)→まち歩き→工場見学→道具による作品づくり(現地にて解散)

要申し込み(定員20名)

対象：どなたでも
(小学生3年生未満は親同伴)
参加費無料 雨天決行

※応募はメールをお願いします。

申込方法

参加希望の日にちをお書きのうえ、参加者氏名、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)をご明記のうえ下記宛先までお申し込みください。定員になり次第応募を締め切ります。

e-mail: otanokakera@gmail.com



子供も大人も楽しめるワークショップです。

2016 秋 展覧会を開催します！



ワークショップに参加していただいた方々の作品を一堂に集め、この秋に展覧会を開催します。

これまで参加された方はもちろんのこと、町工場と距離のあった住民や町工場で働く人々たちを招き、まちの新たな賑わいや交流を生み出していきます。

問い合わせ

東京工科大学デザイン学部 オオタノカケラ事務局

e-mail: otanokakera@gmail.com

https://www.facebook.com/otanokakera

tel: 03-6424-2111 (代表) fax: 03-6424-2112

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22